



牛乳生産費統計調査票

「農業簿記 11 (ソリマチ)」を活用した調査票

記入マニュアル

農林水産省

大臣官房統計部  
経営・構造統計課

農林水産省

# 目次

## はじめに

「農業簿記」での初期設定	1
部門や補助科目の設定、補助科目一覧表	2、3
調査票の記入	
1：経営の概況	4、5
2：生産物の販売等の状況	6～9
3：調査対象畜の生産に使用した資材等	10～21
4：物件税及び公課諸負担	22、23
5：消費税	24、25
6：借入金（買掛未払金を含む）及び支払利子	24、25
7：建物及び構築物（土地改良施設を含む） の所有状況	26、27
8：自動車（自動二輪・三輪を含む）の所有状況	28、29
9：農業機械（生産管理機器を含む）の所有状況	30、31
10：農具の購入費等	32、33
11：搾乳牛等の所有状況	34、35
12：作業別労働時間	36、37
13：地代（所有地及び借入地）	38、39
14：乳用牛の月齢別の飼育経費	40、41

### <記入上の注意事項>

1. 調査項目欄については、右詰で記入してください。
2. 記入に際しては、黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
3. 回答もれや回答誤りがないか、最後にもう一度ご確認ください。

※ 数字は枠からはみ出さないよう、楷書でていねいに記入してください。  
※ 調査項目の具体的な説明については「調査票の記入の仕方」を参照してください。

## はじめに

### 「農業簿記11」での初期設定

農業簿記のデータを用いて、牛乳生産費の調査票を記入する場合、事前に酪農部門を設定しておくほか、調査項目を農業簿記に設定しておく必要があります。  
なお、牛乳のみ生産している場合は部門の設定は必要ありません。  
(取引事項が発生した時点で、設定することも可能です)

部門の設定は、一番最初の起動時に、案内に沿って進めていくことで、設定されますが、酪農部門は後から設定します。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 部門設定を選択・・・部門階層は2もしくは3階層にします。  
(詳細は、農業簿記「導入マニュアル」を参照してください。)

また、牛乳生産費用の調査項目を設定する場合は、補助科目機能を利用し、勘定科目の内訳を作成します。  
例えば、飼料費の内訳として、「大麦」、「とうもろこし」、「配合飼料」等を設定する必要があります。  
(3頁に一覧表があります。)

以下の手順にて、牛乳生産費用の調査項目を設定してください。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 勘定科目設定を選択
- 5 補助科目設定のボタンが表示されるので、クリックして、分類（売上、経費、負債等）別に、設定します。

### <記入上の注意事項>

1. 「農業簿記」で、把握できない項目については、「記入の仕方」を参考にし、調査票に直接ご記入ください。
2. また、記入内容について、職員や専門調査員から照会等させていただく場合がございますので、ご理解いただきますようお願いいたします。



【1】経営の概況

調査票 P3

1 経営耕地

区 分	所有地 (a)		借入地 (a)	
	ha	a	ha	a
田	1	70	3	0
普通畑	5	80	9	70
樹園地				
牧草地	1	180		

2 子牛

区 分	用語の説明	男 (人)	女 (人)
世帯員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者 (住み込みの年雇等を含む。)	3	3
家族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団 (15歳未満を除く。)	3	2
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上者	2	2
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上者	2	1
農業年雇	農業経営のためにおおむね年間 (7か月以上) を通じて雇った者	1	

3 認定農業者の状況

○ いる	○ いない
------	-------

「経営の概況」1～3項

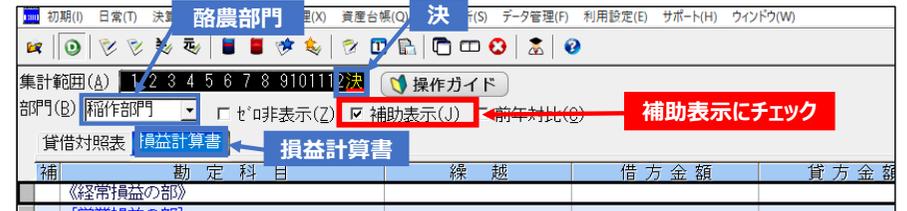
「農業簿記」では対応していません。  
牛乳生産費統計調査票 「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

※ 「農業簿記 11」では、数量 (頭数、重さ、割合比率など) の数値に関しては対応していません。

農業簿記 11 (ソリマチ) の参照の仕方

ダイレクトメニューで **【集計分析】** ⇒ **【集計】** ⇒ **【合計残高試算表】** と進みます。

合計残高試算表 ⇒ 集計範囲: 決算 ⇒ 部門: 酪農部 ⇒ 表示タイプ「補助表示」にチェックを入れて、損益計算書を選択し印刷します。



ここでは、印刷した試算表の「残高」を見て、調査票に記入していくことを前提とします。  
また、わかりやすいよう補助科目は赤字にしています。  
(以下、同様です。なお、実際に印刷されたものは黒字です。)

【2】生産物の販売等の状況

調査票 P4~P6

1 生乳

区分	数量 (kg)	価額 (円)	内容
出荷 (乳代)	70,000	630,000	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
補給金等		6,000	加工原料乳生産者補給金等の補給金
販売手数料		9,500	農協や指定団体へ支払った手数料
集乳経費		18,000	メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
小売り	500	4,000	消費者に小売りした生乳の金額
子牛給与	180		
自家消費	30		
計			
乳脂肪生産量	280	4.00%	⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無脂乳固形生産量	630	9.00%	⇒無脂乳固形生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

2 子牛

区分	乳用種		交雑種 (F1)		黒毛和種 (受精卵移植)	
	雄	雌	雄	雌	雄	雌
耳標番号を登録していない子牛の頭数 (頭)	2	1	1	1	1	

生乳の販売状況

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・酪農部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、売上高、生乳の補助科目として「生乳代 (出荷)」等を設定しました。

損益計算書		酪農部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
[売上高]					
生乳代 (出荷)				630,000	
成分乳 (脂肪乳)				250,000	
成分乳 (無脂固形乳)				350,000	
乳質乳				30,000	
小売り				4,000	
[生産原価]					
荷運賃手数料					
農協集乳費				18,000	
[経常損益の部]					
[販売費一般管理費]					
委託販売手数料				9,500	
[営業外損益の部]					
[営業外収益]					
助成金収入				60,000	
加工原料乳補給金				45,000	
集送乳奨励金				15,000	

「生乳及び子牛」の販売数量、頭数

「農業簿記」では対応していません。

牛乳生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

※「農業簿記 11」では、数量 (頭数、重さ、割合比率など) の数値に関しては対応していません。

【2】生産物の販売等の状況（続き）

調査票 P5

3 きゅう肥の利用状況

総搬出量 の割合 (%)	販売用		
	販売用	自家利用	廃棄
1 0 0	2 0	7 0	1 0

販売金額（円）			
5	0	0	0

物々交換した場合			
品目名 (具体的に記入)	数量		単位
	万	千	
稲わら	2	00	kg
麦わら	1	00	kg
玄米		60	kg
ジュース	1	000	円

きゅう肥の利用状況

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・酪農部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、売上高の補助科目として「生乳代（出荷）」等を設定しました。

損益計算書

酪農部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【売上高】					
生乳代（出荷）				630,000	
成分乳（脂肪乳）				250,000	
成分乳（無脂固形乳）				350,000	
乳質乳				30,000	
小売り				4,000	
きゅう肥					
きゅう肥（販売用）				50,000	

きゅう肥の総排出量、物々交換量

「農業簿記」では対応しておりません。

牛乳生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等

調査票 P7

1 購入飼料

区 分		数 量	単 位	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合
穀 類	大 麦	10000	kg	450000	100
	その他の麦				
	とうもろこし	8300	kg	354600	80
	大 豆				
	飼 料 用 米				
ぬ か ・ ふすま類	ふ す ま				
	米 ・ 麦 ぬ か				
	そ の 他 の ぬ か ・ ふ す ま 類				
植 物 性 か す 類	大豆油かす				
	ビートパルプ	167	20kg 袋	643800	100
配 合 飼 料	その他の植物性かす類				
	配 合 飼 料	70	t	4141000	80
牛 乳 脱 脂 乳	T M R (糖飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料)	35	t	732300	80
	牛 乳 脱 脂 乳	4	20kg 袋	28000	100
いも類及び野菜類					
わ ら 類	稲 わ ら				
	その他のわら類 (麦わら等)				
生 牧 草					
乾 牧 草	ヘイキューブ	3600	kg	211900	80
	その他の乾牧草				
サイレージ	い ね 科 (稲発酵粗飼料を除く。)	8	t	91400	80
	稲発酵粗飼料				
上 記 以 外 の 購 入 飼 料	そ の 他 の サイレージ				
	上 記 以 外 の 購 入 飼 料			80000	100

購入飼料の数量、負担割合

「農業簿記」では対応しておりません。

牛乳生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

購入飼料

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・酪農部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、【生産原価】飼料費の補助科目として「大麦」、「とうもろこし」等を設定しました。

損益計算書

酪農部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
飼 料 費				6,328,000	
大麦				45,000	
とうもろこし				354,600	
ビートパルプ				643,800	
配合飼料				4,141,000	
T M R				732,300	
牛乳脱脂乳				28,000	
ヘイキューブ				211,900	
サイレージ・いね科 (稲発酵粗飼料 除く)				91,400	
上記以外の購入飼料				80,000	

【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等 (続き)

調査票 P8

2 自給飼料

- (1) 家畜に給与する目的で栽培した作物
- (2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

調査票 P9

3 種付料

(1) 種付に払った料金

種付料金 (円)	739000
-------------	--------

(2) 自家で飼育する  
種雄牛による述べ種付回数

述べ種付回数 (回)	7
---------------	---

4 敷料費

(1) 購入

区分	金額 (円)	調査対象畜 負担割合
計	305000	60
稲わら		
おがくず		
麦わら		
乾牧草		
その他		

物々交換した場合		
品目名 (具体的に記入)	数量	単位
きゆう肥	3	t
ジュース	1000	円

(2) 自給

資材名 (具体的に記入)	使用数量		単位	調査対象畜 負担割合
	万	千		
乾牧草	2	500	kg	60
稲わら	7	00	kg	60

自給飼料の栽培数量

「農業簿記」では対応しておりません。

牛乳生産費統計調査票 「調査票の記入の仕方」を参照して記入願います。

種付料 (購入)

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・酪農部門・損益計算書を参照します。

損益計算書

酪農部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
[生産原価]					
種付料				739,000	
種付料				739,000	

敷料費 (購入金額)

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・酪農部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、敷料費の補助科目として「稲わら」、「おがくず」等を設定しました。

損益計算書

酪農部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
[生産原価]					
敷料費				305,000	
稲わら					
おがくず					
その他					

種付回数、敷料費 (物々交換、自給)

「農業簿記」では対応しておりません。

牛乳生産費統計調査票 「調査票の記入の仕方」を参照して記入願います。

【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等 (続き)

調査票 P9

5 光熱動力費

(1) 購入

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)	
		調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
計	万 千 百 十		
重 油			
軽 油	2 3 0 0 0 0	5 0	2 0
灯 油	1 2 0 0 0 0	8 0	
ガソリン	5 0 0 0 0 0	5 0	2 0
水 道 料	1 7 0 0 0 0	8 0	
電 力 料	7 0 0 0 0 0	8 0	
そ の 他			

(2) 自給

資材名 (具体的に記入)	使用数量		負担割合 (%)	
	単 位	調 査 対 象 畜	自 給 牧 草	
薪	1 0 kg	1 0 0		

光熱動力費 (購入)

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・酪農部門・損益計算書を参照します。

なお、動力光熱費について、事前に部門別に仕分ける事が困難な場合は、共通部門として入力しておき、「全部門」を選択して、計算させます。

損益計算書

酪農部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
動力光熱費				1,008,259	
重油				0	
軽油				230,000	
灯油				120,000	
ガソリン				50,000	
水道料				170,000	
電力料				700,000	
その他				0	

光熱動力費 (自給)

「農業簿記」では対応しておりません。  
牛乳生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等 (続き)

調査票 P 1 0

6 獣医師料及び医薬品費

区 分	★ 金額 (円)	調査対象畜 負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
計	131,100.0	80	
獣医師料			獣医師に支払った診療代 (投薬、注射等の代金を含む。)
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部 分)
医薬品費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤、ミルカー の洗剤費用等

光熱動力費及び諸材料の購入金額

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・酪農部門・損益計算書を参照します。

この事例では、診療衛生費の補助科目として「獣医師料」「医薬品費」等を設定しています。

損益計算書 酪農部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
診療衛生費				1,200,000	
獣医師料					
医薬品費					
その他医療費					

損益計算書 酪農部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
共済 掛金					
疾病共済掛金				111,000	

★ 「疾病共済掛金」は損益計算書－【販売費一般管理費】⇒(共済 掛金)の項目に表示されます。計を記入する場合は「診療衛生費」と「疾病共済掛金」の合計値を記入してください。

【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

調査票 P10

7 賃借料及び料金

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)		賃借料及び料金の例示
		調 査 対 象 畜	自給牧草	
計				
共同負担金				共同放牧場（育成牛の放牧料は除く。）、共同採草場など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料	1 3 6 0 0 0	5 0	2 0	農機具のリース代
牛乳検査料	1 1 1 0 0 0	1 0 0		
削蹄料	2 4 0 0 0 0	9 0		
疾病の検査料	1 1 0 0 0 0	9 0		義務付けられている検査（結核、ブルセラ病等）に要した費用
乳用牛群検定料	9 6 0 0 0 0	1 0 0		
その他	3 1 2 0 0 0	9 0		建物の賃借料、コントラクター料金、作業委託料

賃借料及び料金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・酪農部門・損益計算書を参照します。

この事例では、賃借料の補助科目として「共同負担金」「農機具借料」等を設定しています。

損益計算書

酪農部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
賃借料					
共同負担金					
農機具借料				136,000	
牛乳検査料				111,000	
削蹄料				240,000	
疾病の検査料				11,000	
乳用牛群検定料				96,000	
その他				312,000	

【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等 (続き)

調査票 P 1 0

8 草地費 (草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金)

草地開発事業の負担金 (円)		土地改良事業の負担金 (円)		
草地造成事業	草地整備事業	事業番号 (①)	事業番号 ( )	事業番号 ( )
80000		23000	000	

9 その他の資材等

資材名等	数量	単位	金額 (円)	負担割合 (%)	
				調査対象畜	自給牧草
計					
購入					
ミルカーのフィルター			50000	100	
搾乳手袋			30000	100	
デントコーンの種子			40000		100
消石灰			120000	20	50
ラッピングフィルム			80000		100
自給					
きゅう肥	8	t			100

その他の資材等 (自給)

「農業簿記」では対応しておりません。  
牛乳生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

草地費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・酪農部門・損益計算書を参照します。

この事例では、賃借料の補助科目として草地費の「草地開発事業の負担金 (草地造成事業)」等を設定しています。

損益計算書		酪農部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
[生産原価]					
草地費					
草地開発事業の負担金 (草地造成事業)				80,000	
土地改良事業の負担金				23,000	
その他					

その他の資材等 (購入)

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・酪農部門・損益計算書を参照します。

この事例では、諸材料費の補助科目として「ミルカーのフィルター」等を設定しています。

損益計算書		酪農部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
[生産原価]					
諸材料費				293,000	
ミルカーのフィルター				50,000	
搾乳手袋				3,000	
デントコーンの種子				40,000	
消石灰				120,000	
ラッピングフィルム				80,000	

【4】 物件税及び公課諸負担

調査票 P 1 1

1 物件税

区 分		金 額 (円)	負担割合 (%)	
			調査対象畜	自給牧草
計				
固定資産税	建 物	1 4 0 0 0 0	6 0	1 0
	農 機 具	3 0 0 0 0 0	5 0	2 0
都市計画税 (土地以外)				
不動産取得税 (土地以外)				
自動車取得税		1 5 0 0 0 0	5 0	2 0
共同施設税				

2 公課所負担

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)		公課諸負担の例示
		調査対象畜	自給牧草	
計				
集落協議会費	7 5 0 0	9 0		地域集落等の会費
農業協同組合費	1 1 0 0 0 0	9 0		農業協同組合の組合費、賦課金
酪農組合費	9 0 0 0 0 0	1 0 0		
生乳出荷枠の取得費		1 0 0		
農事実行組合費	1 0 0 0 0 0	9 0		実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金	1 2 5 0 0 0	8 0		

物件税及び公課諸負担

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、物件税の補助科目として「都市計画税」「共同施設税」等を  
公課所負担の補助科目を「集落協議会費」「酪農組合費」等を設定しています。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税 公課					
固定資産税・建物				140,000	
固定資産税・農機具				30,000	
都市計画税					
不動産取得税					
自動車取得税				15,000	
共同施設税					

損益計算書

全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税 公課					
固定資産税・建物				140,000	
集落協議会費				7,500	
農業協同組合費				110,000	
酪農組合費				90,000	
生乳出荷枠の取得費					
農事実行組合費				10,000	
家畜共済組合賦課金				125,000	

【5】消費税、【6】借入金

調査票 P11

【5】消費税

区 分	金 額 (円)	調査対象 負担割合
消 費 税 (納付額)	2000000	90%

消費税

- ※ 消費税は「合計残高試算表」では、表示されません。  
「バランスシート」を参照してください。
- ※ 実際に納付した消費税の額を記入してください。

【6】借入金（買掛未払金を含む）及び支払利息

借 入 金 種 類	調査開始時 未償還残高 (円)	支払利息額 (円)	負担割合 (%)	
			調 査 対 象 者	自 給 牧 草
計	3550000	40000	7.0	3.0
△△資金 (畜舎用)	3000000	40000	6.0	1.0
××資金 (ローダー用)	500000	15000	5.0	2.0
〇〇資金 (トラクター)	4300000		5.0	2.0
買 掛 未 払 金				

借入金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
前期の合計残高試算表の決算・全部門・貸借対照表と今期の  
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。  
この事例では、利子割引料の補助科目として「△△資金 (畜舎用)」、  
「××資金 (ローダー用)」等を設定しています。

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《負債の部》					
【固定負債】					
長期借入金				7,800,000	
△△資金 (畜舎用)				3,000,000	
××資金 (ローダー用)				500,000	
〇〇資金 (トラクター)				4,300,000	
【流動負債】					
買 掛 金				355,000	

借入金 (支払利息)

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【営業外費用】					
利子割引料				55,000	
短期借入金利子					
△△資金 (畜舎用)				40,000	
××資金 (ローダー用)				15,000	
〇〇資金 (トラクター)					

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む）の所有状況

調査票 P 1 2

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む）の所有状況

番号	名称等	種類 コード	構造 コード	延べ面積 (㎡) 又は 施設数 (基)	新古 区分 新 古	耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>(購入金額から補助金を控除し た額を記入してください。)</small>	農業経営基盤 強化準備金 (円) <small>(建物等の取得のために取 り崩した準備金の額を記入 してください。)</small>	修繕費 (円) <small>(当年の当該建物等の修繕費 を記入してください。)</small>	保険料 (円) <small>(当年の当該建物等の災 害保険料を記入してくだ さい。)</small>	負担割合 (%)		年内異動状況 異動 コード 異動に伴う発生金額 (円) <small>(売却金額、取り崩しの金額)</small>
							年 (西暦)	月					調査 対象畜	自給 牧草	
1	畜舎・フリーストール	5	5	400	○	3	1	1965	9	6500000		20000	100	1	5000000
2	たい肥舎	9	4	100	○	3	4	1997	5	3000000			100	2	1500000
3	作業場	4	1	200	○	1	5	2008	7	2600000			100	3	2000000
4	サイロ	2	3	1	○	1	7	2013	3	8000000	500000	30000	100		
15	畜舎・フリーストール (新築)	5	5	800	○			2019	6	2500000			100		

建物等の取得年月と取得価格、売却金額（自動車、農業機械も同様）

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。  
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

減価償却資産集計表

コード 事業区 分 資産区 分	資産名称					取得価格		普通償却額		売却価額	
	摘要					交付金等 差引取得 償却基礎金額	割増特別償却額 当期償却費計	普通償却額 当期償却費計	売却損益 期首帳簿価額	売却損益 期末帳簿価額	
	取得年月日 売却除去日	償却方法 事業専用	耐用年数 数量	償却率 残存 1	期間 残存 2						
1 農業 建物	畜舎・フリーストール					6,500,000					
	1965/9										
2 農業 建物	たい肥舎					300,000					
	1997/5										
3 農業 建物	作業場					2,600,000			200,000		
	2008/7										
4 農業 機械装 置	脱臭施設					400,000					
	2013/3										

修繕費・保険料

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。  
この事例では、修繕費の補助科目として「建物修繕費」を設定しています。  
ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て酪農で  
負担したと見なしています。

損益計算書

勘定科目	繰越	全部門		残高	構成比 (%)
		借方金額	貸方金額		
【経常損益の部】					
【生産原価】					
修繕費					
建物修繕費				30,000	
【販売費一般管理費】					
損害保険料				20,000	
建物保険料				20,000	

農業経営基盤強化準備金の取り崩しについて

「農業簿記」の合計残高試算表では表示できません。  
牛乳生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む）の所有状況

取得年月、取得価格、売却金額

本マニュアルP24と同様、「減価償却資産集計表」を参照して転記してください。

調査票 P13

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む）の所有状況

番号	名称等	種類 コード	型式 区分 新古 新品 中古	耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>購入金額から補助金を 控除した額を記入してくだ さい。</small>	修繕費 (円) <small>当年の当該自動車等の 修繕費を記入してくださ い。</small>	自動車保険料 (円) <small>当年の当該自動車 等の保険料を記入し てください。</small>	自動車・ 軽自動車税 (円) <small>当年の当該自動車 等の自動車税又は軽 自動車税を記入し てください。</small>	当年、車検を受けた自動車等 について記入してください。		負担割合 (%)		年内異動状況		
					年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)	調査 対象畜	自給 牧草	異 動 コ ー ド	売却金額 (円) <small>廃棄（無償譲渡を含む。）した 場合は、「0（ゼロ）」</small>	
1	軽トラック	11	○	4	2014	2	5600000			4000			20	80	1	500000	
2	貨物ダンプ	12	○	2	2009	8	7000000			8000	3300	23970			100	2	0
3	貨物トラック	13	○	5	2016	1	13000000	1240000	100000	160000	16400	28720			100		
15	軽トラック	11	○	3	2019	4	3000000				6600	25880	20	80			

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。  
建物の修繕費と同じですが、合算されているので、元帳で内訳を確認します。

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
[生産原価]					
修繕費				174,000	
建物修繕費				30,000	
農具修繕費				20,000	
車修繕費				124,000	

自動車保険料、自動車・軽自動車税、自動車重量税、自賠責保険

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。  
この事例では、租税公課の補助科目として「自動車保険料」「自動車税」等を設定しています。  
ここでは、各項目毎に合算されているので、元帳で更に内訳を確認します。

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
[販売費一般管理費]					
租税 公課					
固定資産税・建物				140,000	
軽・自動車税				28,000	
自動車重量税				19,700	
自賠責保険				52,690	
損害保険料					
自動車保険料 (車両分)				10,000	

【9】農業機械（生産管理機器を含む）の所有状況

調査票 P14

【9】農業機械（生産管理機器を含む）の所有状況

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月 （西暦）		取得価額 （円） （購入金額から補助金を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金 （円） （農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。）	修繕費 （円） （当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。）	保険料 （円） （当年の当該農業機械の保険料を記入してください。）	軽自動車税 （円） （当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。）	負担割合（%）		年内異動状況	
						年	月						調査対象畜	自給牧草	異動コード	売却金額 （円） （廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1	農用トラクター	56	○	5	2000	3	800000			80000	2400	100	1		200000	
2	集草機	366	○	5	2006	8	300000						100	2	0	
3	ローダー	496	○	7	2014	7	600000	500000	200000				100			
14	農用トラクター	56	○		2019	5	1500000						100			
15	ベラー（リース）	356	○													

農業経営基盤強化準備金の取り崩しについて

「農業簿記」の合計残高試算表では表示できません。  
牛乳生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

農業機械等の取得年月と取得価格

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。  
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

コード 事業区分 資産区分	資産名称 摘要					取得価格		普通償却額	割増特別償却額	売却価額
	取得年月日 売却除去日	償却方法 事業専用	耐用年数 数量	償却率 残存1	期間 残存2	交付金等 差引取得 償却基礎金額	当期償却費計 償却費累計	当期償却費計 償却費累計	期首帳簿価額 期末帳簿価額	
1 農業 農業機械	2000/3					800,000			20,000	
2 農業 建物	2006/8					300,000				
3 農業 機械装置	2014/7					600,000				
4 農業 機械装置	2019/5					1,500,000				

修繕費、保険料、軽自動車税

ダイレクトメニューで  
【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
【経常損益の部】					
【生産原価】					
修繕費				170,000	
農具修繕費				20,000	
【販売費一般管理費】					
租税 公課					
軽・自動車税				28,000	
軽・自動車税（トラクター）				2,400	
損害保険料					
自動車保険料					
保険料（トラクター）				8,000	

【10】農具の購入費等

調査票 P15

【10】農具の購入費等

・農具・農業被服等の購入費

名称等	金額(円)	負担割合(%)		内容例示
		調査対象畜	自給牧草	
(計)	30500	30	10	
農具・農業被服等の購入費				<b>【農具の購入費】</b> ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費  <b>【農業被服の購入費】</b> ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

・生産管理関係の費用

名称等	金額(円)	負担割合(%)		内容例示
		調査対象畜	自給牧草	
(計)	3000	20	30	
生産管理関係の費用	コピー用紙、インク	3000	20	
	筆記用具	1000	50	30
	携帯電話代	2400	10	
	研修の参加料	3000	80	20
				<b>【購入費】</b> ・コピー用紙、プリンター、トナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品(筆記用具、帳簿、ノート、電卓等)の購入費  <b>【技術習得に係る費用】</b> ・研修、集会等への参加料(受講料)、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費  <b>【電話代・通信費】</b> ・スマートフォンの通信料

農具・農業被服等の購入費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

農業簿記では、「農具費」と「作業用衣料費」の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
農具費				23,500	
作業用衣料費				7,000	

生産管理関係の費用

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

農業簿記では、「研修費」、「事務消耗品費」及び「通信費」等の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
旅費交通費				0	
研修費				3,000	
接待交際費				0	
事務消耗品費				4,000	
通信費				24,000	
新聞図書費				0	

【11】 搾乳牛等の所有状況

調査票 P16

1 農家団体コード (牛トレサ関係)

農家団体コード1										農家団体コード2										農家団体コード3									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

2 搾乳牛の取引状況

個体識別番号 (10ヶタの耳標番号)	名称 (記入は任意)	異動 月	購入・売却 (該当に○)		取引金額 (円) (購入額 売却額)	育成牧場 への預託 (該当に○)	
			購入	売却		出	戻
(購入の例)			○				
9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		1	○		8 0 0 0 0 0 0		
(売却の例)				○			
9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		2		○	2 2 0 0 0 0 0		
(入牧の例)						○	
9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		3				○	
(下牧の例)							○
9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		4					○

農家団体コード

「農業簿記」では対応しておりません。元帳に数量を入力する事は可能ですが、計算はされません。牛乳生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

搾乳牛の売却及び購入

牛トレサデータに基づき、年内に異動（購入・売却）のあった牛について、「個体識別番号」、「移動月」、「購入・売却（○）」を印字してありますので、当該牛の取引金額（購入額、売却額）を記入してください。  
なお、売却時の生体重が不明の場合は、記入方法を担当にご相談ください。

● (購入の場合)

当該牛の購入額を「取引金額」欄に記入してください。

● (売却の場合)

当該牛の売却額を「取引金額」欄に、売却時の生体重を「売却時生体重」欄に記入してください。

【12】作業別労働時間

調査票 P17

1 酪農に関する定型作業

氏名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゆう肥搬出		搾乳・牛乳処理・運搬		その他の飼育作業	
				時間	分	時間	分	時間	分	時間	分
農林 太郎	男	56	家族雇用	2	0	1	0	4	0	1	0
				30		60		350		120	
花子	女	54	家族雇用	2	0					3	0
				300						60	
一郎	男	28	家族雇用	2	0	2	0	2	0		
				30		100		350			
雇用者(常雇い)	男		家族雇用	2	0	1	0	2	0	1	30
				240		100		240		60	
雇用者(ヘルパー2名)	男		家族雇用	2	0			4	0		
				15				15			
雇用者(ゆい)	男		家族雇用	3	0	1	0			1	0
				5		5				5	

2 酪農に関する1以外の作業

氏名	性別	年齢	家族・雇用	作業名				
				(牧草生産)	(集会出席)	(建物修繕)	(簿記帳簿)	(資材購入)
農林 太郎	男		家族雇用	120	10	15		
花子	女		家族雇用				30	
二郎	男	25	家族雇用	120	5	8		10
雇用者(年雇)	男		家族雇用	60				20

3 支払賃金

区分	金額(円)	負担割合(%)	
		調査対象畜	自給牧草
男	25000000	90	10
女	30000000	100	

労働時間

「農業簿記」では対応しておりません。元帳に数量を入力する事は可能ですが、計算はされません。牛乳生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

支払賃金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。この事例では、雇人費の補助科目として、「**男雇用**」、「**女雇用**」を設定します。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
雇人費				2,800,000	
男雇用				2,500,000	
女雇用				300,000	

【13】地代（所有地及び借入地）

調査票 P17

1 所有地

ほ場名	ほ場の例示	実面積	負担割合 (%)	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫及び牛乳の冷却槽などの建物及び構築物の敷地	60	50	30
運動場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を網でつないで飼うこと。）に利用した土地	150	70	
牧草栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地	1180		100
放牧地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地	500	100	
採草地	耕地以外で過去1年間に調査対象畜用の野草を採草した土地			

2 借入地

ほ場名	実面積	支払地代 (円)	負担割合 (%)	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地				
運動場				
牧草栽培	600	1500000		100
放牧地				
採草地				

数量の入力（実面積等）

「農業簿記」では対応しておりません。  
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。  
牛乳生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

借入地（支払地代）

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・酪農部門・損益計算書を参照します。  
この事例では、支払地代の補助科目として、「牧草栽培」「放牧地」等を設定しています。

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
[生産原価]					
支払地代				150,000	
牧草栽培				150,000	
牧草地					

【14】乳用牛の月齢別の飼育経費

調査票 P17

1 飼料等

搾乳牛（成牛）に給与する飼料費を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に給与する飼料費の割合を記入してください。	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	1 0 0	1 0	3 0	6 0	8 0

2 建物

搾乳牛（成牛）の飼育に使用する建物面積を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に使用する建物面積の割合を記入してください。	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	1 0 0	2 0	4 0	7 0	9 0

3 飼育作業

搾乳牛（成牛）の飼育に要する労働時間を「100」とした場合の、月齢別の後継牛の飼育に要する労働時間の割合を記入してください。	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	1 0 0	2 0	4 0	5 0	8 0

負担割合

「農業簿記」では対応しておりません。  
牛乳生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

# 牛乳生産費統計調査票 記入マニュアル（ソリマチ版）

**監 修：**ソリマチ株式会社

**発 行：**農林水産省大臣官房統計部経営・構造統計課

**住 所：**〒100-8950 東京都千代田区霞が関1丁目2番1号

**TEL：**03（3502）5654

**制作委託：**株式会社エージェント